

双 鷺 洲

鷺浦コミュニティセンターだより

みんなで楽しく
生涯学習

新年の「あいさつ」

鷺浦コミュニティセンター運営委員長



河野 貢



明けましておめでとございませう。本年も鷺浦コミュニティセンターは島の生涯学習の拡充、活性化の拠点・トライアスロン事務局・元氣さぎしま協議会事務局・その他と真摯に活動して参りますのでよろしくお願ひ申し上げます。

昨年、11月末、友人5名と三菱研修センターに、初めて一泊させていただいた。夜、何の音もしない暗闇の海を見て「いいなー気持ちいいなー。私には何の変哲もない日々の風景だけれど・・・」。この宿泊はとても良かった。広々としたトイレ・寝具も整い、食事もうまい、なんと言っても安価なのがいい。翌日、向田からのウォーキング途中、島のばん屋さんでのコーヒーも美味しかった。

遅ればせながら、私は、島の施設をもっと利用すべきであったと反省した。

三菱やセミナー・民宿に泊まったことがなかったからである。同時にコミセンでの講座や会合に参加する人は限られているとも感じた。

人の動きを見てみると島は確実に変化している。なくなる人、主の消えた家、体力に限界を感じつつも黙々と仕事に励む人、一方、わずかながら、移り住む人もいる。過疎と向き合うのは一人一人です。今年も一年、変化する過疎を飲み込み、笑顔で明るく島生活を謳歌しましょう。

「コミセン」へのさらなるご協力をお願いして、新年の「あいさつ」といたします。



鷺浦町内会長
三原市議会議員 登木 敏之



新年明けましておめでとございませう。旧年中は大変お世話になりました。昨年にありがとございませう。昨年は、年末のあわただしさの中で繰り広げられた衆議院の解散総選挙は、年金や高齢者医療・脱原発・景気回復等々が争点となり、多くの政党が列島を駆け巡りましたが、国民生活の大局に立った政治を敢行してもらいたいと願っています。

今年4月14日には、本市において市長選・市議選が同時選挙となりますが、昨年、揺れに揺れた駅前庁舎建設問題は、見送られました。駅前中心市街地の再々開発をどのように進めるのか、新体制での仕切り直しとなりましたが、三原市民の目線で気軽に往来でき親しまれる街づくりが求められているのかも知れません。

人口減少社会の渦中において、昭和60年に建設された三菱研修センターが、30年を経過し社員の減少と共に施設の維持・管理が困難となり、今後、1年、1年半の間に施設の廃止が決定されました。処分

の基本的な考え方は、現行の機能(宿泊・研修)を維持しつつ子どもや地域振興のための有効活用を前提に、市や地域(鷺島)への無償譲渡が検討されており、今後の有効活用が期待されております。

鷺島におきましても、約半世紀にわたり島の治安維持や交通安全にご尽力いただきました鷺浦駐在所が、この度、人口が最も多く島の玄関である鷺港付近の県道沿いに新築移転することが決定しております。

近年、多くのボランティアに支えられているトライアスロン大会も、5年後の第28回大会までの実施が決まっております。また、須ノ上セミナーハウス前の海岸ではアサリが順調に繁殖しており規模拡大を図りながら、里海再生に取り組んでいるところではあります。

今年も微力ではございますが、島の振興に向け活動できたらと思っておりますので、ご指導とご鞭撻のほどお願い申し上げます。いさつといたします。



三原市議会議員 白須 均



新春を迎えお慶びを申し上げます。

昨年末の衆議院議員総選挙では、民主党政権から自民党政権へと移りました。今の日本国にとって課題が沢山ありますが、中でも対米、中国、北朝鮮、ロシアなどの外交防衛問題、教育改革、景気対策、消費税負担等は大変重要と考えます。国民の為の政治を心から期待するものです。

さて、三原市議会活動で昨年からの流れを振り返りますと、駅前東館跡地問題(新庁舎複合施設建設)について、議会として一定の結論を出しました。

また、三原市は税収減による厳しい財政状況の中、多くの課題を抱えております。不況、不景気、人口減等々です。

そして、平成17年3月の合併以来2期目の今年には行財政改革の一環として、議員定数を32人から28人に削減いたしました。今年4月の選挙から実施されます、少数精鋭で市民の要望を市政に反映したいものです。

二元代表制の一翼を担う議会として今年度も市民の為、活動して参りますので、よろしくお願ひ申し上げます。いさつといたします。

尾道の離島 百島診療所 次田展之院長を迎え講演会が開催されました 「高齢者の健康管理について」

11月25日(日) さぎしま架橋促進委員会と鷺浦町内会主催で、須ノ上集会所において尾道市百島診療所次田展之院長を迎え、「高齢者の健康管理」について講演会が開催されました。次田院長は神奈川県相模原市出身。かねてから医師がいない地域での勤務を希望し、平成23年4月百島診療所を開設しました。講演会では、離島訪問診療について百島以外での離島への訪問診療を小型船舶で往診しているため佐木島も対象になるそうです。訪問診療の患者数を増やしていくのが課題ですが、高齢者が住み慣れた家で家族や医師に囲まれて人生最期を迎えてほしいと離島訪問診療を熱く語られました。



講演する次田展之院長

元気さぎしま協議会 さぎしま体験交流日帰りツアー 旬のみかん狩りと砂浜ウォーキング

11月24日(土)観光交流班(1班)が、さぎしま体験交流日帰りツアーを実施しました。市外から17名が参加して、さぎしまを愛するボランティアガイドの案内で、島内ウォーキング、長浜海岸では砂浜歩行用シューズを履いて、砂浜ウォーキングを、畑では今が旬のみかん狩りを体験しました。交流会では「さぎしまの手作り弁当」を食べながら交流を深め楽しい体験交流日帰りツアーとなりました。



みかん狩り体験



佐木島の説明



砂浜ウォーキング



島民との交流会

体験講座 参加者募集

料理教室 高血圧症の予防・改善の食事

日時 2月1日(金) 10:00 ~ 13:00
場所 鷺浦コミュニティセンター
講師 今川奈菜
定員 20名(先着順)
材料費 500円 受講料 100円
持参物 エプロン・三角巾・マスク・タオル
申し込み締切日 1月22日(火)
申し込み先 鷺浦コミュニティセンター
87-5004

鷺浦分団にAED(自動体外式除細動器)が寄贈されました



向田消防屯所での贈呈式



三原鷺浦郵便局長の設置依頼により 中国地方郵便局長協会が寄贈

12月16日(日) 向田消防屯所でAEDの贈呈式がありました。このAEDは、2年前に向田消防屯所に軽自動車の急患搬送車が配備されましたが、AEDは配備されていませんので、急患搬送に携わる消防団員が使用する急患搬送車に配備します。

このAEDは急患搬送車に 配備して使用します

俳句・短歌

- 総選挙 過疎の町には声もなし
- 朝寒や ラジオ体操 老夫婦 あかんたれ
- 闇を裂く 神社の太鼓 冬木立 ぶんか
- 大平山 落葉踏しめ ガイド行く
- 師走には DM二氏が 逝きにけり D生
- 越すに越されず 八十路坂かな
- 深夜便 ききつつ 首手 動きをる D生
- 過去に踊りし 俵屋玄蕃
- ウォーキング 人目を避けて 選ぶ道 D生
- 出会い頭に 嫌人出くわす
- 急ぐ時 横道トラック 飛び出で D生
- 排ガス吹く後 自転車漕ぐ D生

ふるさと館だより

昭和の大難人形展・生け花展(愛好家)
故西原弘二先生の回顧展(水彩画)を開催して
いますので、是非お越しください。

年末年始の開館日
12月30日(日) ~ 1月3日(木)
午前9時 ~ 午後5時

町内行事予定

- 1月
- 1日(火) 元旦祭(歳祝い)
- 2日(水) 新春ロードレース大会(須ノ上)
- 6日(日) 消防出初式(三菱和田沖グラウンド)
午前9時 ~ 放水競技に向田班出場
- 20日(日) 第8回市民ビーチボール大会